

持続可能な山林を支援する真庭市

林業ノススメ

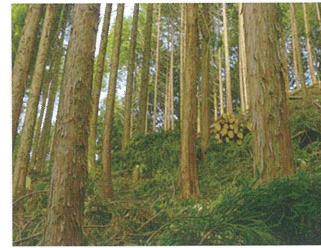
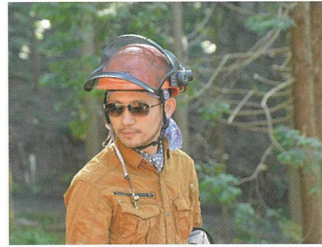


CONTENTS

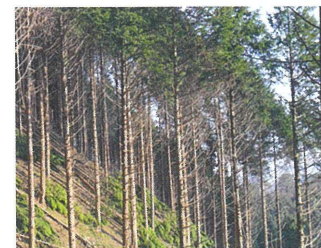
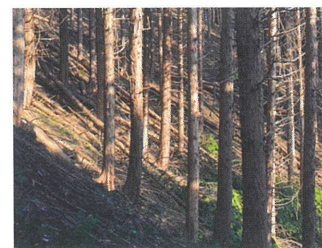
真庭市の林業
フォレストワーカーの仕事
森林が支える木材産業
木が持つ新たな価値
木から電気が生まれる街



FORESTWORKERS@MANIWA



FORESTWORKERS@MANIWA



まにわし 真庭市の林業

真庭市は、岡山県北部・中国山地のほぼ中央に位置し、地震など災害が少なく安定した気候に恵まれています。多彩な地域資源が豊富にあり、その中でも市域の約8割を占める森林を活かしたバイオマス・林業再生のまちづくりは今、全国から注目されています。

古くから木材産業が盛んで市内には、3ヶ所の原木市場と1ヶ所の製品市場があり、流通マーケットを地域内で形成出来ています。地域会社で運営するバイオマス発電所の稼働や、新しい木質建材 CLT の普及推進を積極的に進めるなど、林業再生を地域活力の源とし、【森林を育て共に生きる】可能性を追求し続けています。

フォレストワーカーの仕事

植栽

木を切った後の山に一本一本丁寧に苗木を植えていきます。真庭地域では植栽された樹種の7割がヒノキです。



下刈

植えた苗木に日光や栄養が行き渡るように、周囲の雑草木を刈り取ります。植栽後の数年間は、春から夏の間に毎年実施します。



素材生産の 循環サイクル



収穫

利用期に達した樹木を切り倒し、山土場へ収集。集まった丸太はトラックで原木市場へ運びます。



枝打

節のない柱材など質の高い木材のため、一定の高さまで枝を切り落とす作業です。

間伐

育てている樹木の混み具合によって、適度な間隔を保つよう木を間引きます。森林を健全に保つためにも大切な作業です。



除伐

植栽した木の成長を妨げる雑木や成長の悪い植栽木を取り除きます。



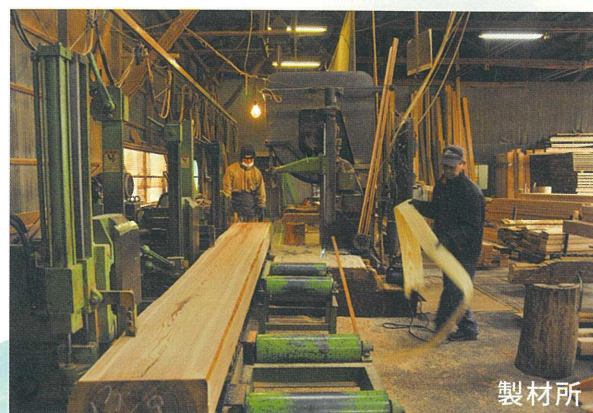
もり 森林が支える木材産業

市の面積の約80%が森林です。そのうち人工林は約58%を占めています。古くからヒノキを主体にした造林がなされるなど生産活動が積極的に行われてきました。これらの森林資源を背景に木材産業も発展。市内には流通の出発点となる原木市場から丸太を柱や梁などに加工する製材所、それを取引販売する製品市場が整い、地域の基幹産業の一翼を担うと共に、西日本有数の木材流通拠点の規模を誇っています。

また近年では、用材以外の木を燃料や原料として加工する取り組みにも挑戦。木質資源を余すことなく使いきる新たな循環利用を進めるなど、地域の関係者が一体となって林業・木材産業の発展に取り組んでいます。



原木市場



製材所



ヒノキ

真庭市のシンボルとして市の木に指定されているヒノキは、特有の芳香と美しい光沢を持っています。菌や虫などに対する耐性が強く、最高品質の建築材として用いられています。

木材・木製品
2,694,218万円

26.2%

2014 工業統計

真庭市
製造品 総出荷額
10,296,939万円



製品市場

木材の需要拡大 【真庭市の挑戦】

資源の価値を後世に伝え、木材利用の新たな可能性を追求している真庭市では、市内の各所で資源の価値を見出す取り組みが実現しています。



- 1 真庭市役所本庁舎
回廊が木材利用の象徴。使用する電力は100%再生可能エネルギーで利用のシンボル。
- 2 真庭市落合総合センター
内外装・構造体に地元産材を使用し、冷暖房はバイオマスボイラーを導入。
- 3 久世駅CLTモデル建設物「木テラス」
CLT普及促進を目的とし、トイレや交流スペースとしてさまざまな用途を備えています。



3 CLT 構造

新たな木質建材 CLT の普及促進

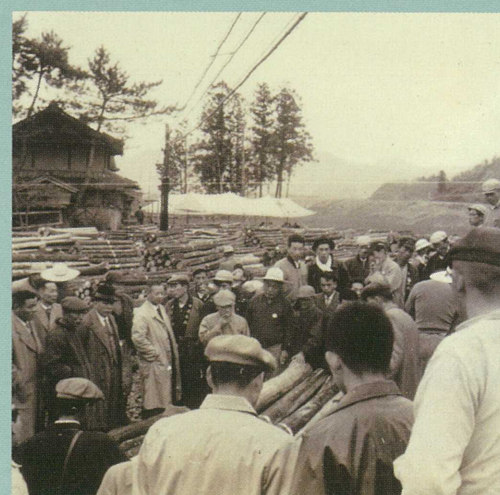
CROSS LAMINATED TIMBER

CLT(直交集成板)は、板材を直角に交差するように重ね合わせ接着したパネルで、強度が高いという特徴から注目されている新たな木質建材です。建築基準法の告示により、中層・大規模施設での木造化が可能となりました。



発展の軌跡

古くからタタラ製鉄が盛んに生産されていた真庭地域では、明治中期以降になってから本格的に植林が行われ始めました。大正から昭和にかけ鉄道が開設されて以降、筏流しによる原木輸送が主力だった当地域において京阪神方面への製材品の流通経路が新たに開かれました。これにより素材生産だけでなく製材加工や販売の道筋も拡大。戦後の高度急成長により木材需要が拡大してゆく中、昭和35年に真庭木材市売(株)が設立し、西日本有数の木材集散地としての地位を築き今日まで発展してきました。





木が持つ新たな価値

バイオマス利活用のパイオニア

真庭市では、これまで山に捨てられていた林地残材や製材加工の工程で出る端材や樹皮などを新たな資源として光を当て、利活用する取り組みが行われています。それらは木質チップなどに加工され燃料として流通し、木の持つ可能性と価値を創出。全国的にも注目される真庭のバイオマス利活用は資源循環のモデルケースとして、今なお成長し続けています。



バイオマス集積基地

木質資源の収集と安定的な供給を目的として平成20年に整備されました。林地残材などを買い取る仕組みが確立され、廃棄物として扱われていた物に資源としての価値が生まれています。



木質チップ(スライスチップ)



木質チップ(ピンチップ)

木から電気が生まれる街

バイオマス発電所の稼働

官民一体の取り組みとして平成27年に稼働を始めた発電所。林地残材などを燃料として安定的に消費することで、木質資源の需要の拡大と雇用の創出にも貢献しています。さらに【木を使い切る真庭】の取り組みにより山林所有者への利益還元も計られるようになりました。

バイオマスツアー-真庭

BIOMASS TOUR MANIWA

真庭市が進めるバイオマス利活用の最前線を巡り、資源循環の流れや仕組みを体感できる人気のツアーです。

平成18年にスタートして以来、国内外から年間2,500人以上の方が参加。また、木の香る古い街並みや歴史文化施設などを視察できる教育旅行としての一面も備えています。



も り まにわ
森林と共に暮らすまち「真庭」



真庭市概要

面積：約 828 km² (東京都 23 区の 1.3 倍)
南北 50km 東西 30km (県下 1 位)
人口：45,676 人 (平成 31 年 1 月 1 日時点)
気候：北部は豪雪 南部は温暖
活断層が無く地震や災害が少ない

真庭市林業担い手就業促進協議会

事務局 | 真庭市役所 林業・バイオマス産業課内
〒719-3292 岡山県真庭市久世 2927-2
TEL.0867-42-5022



森林とともに半世紀。 昔の経験が今も活きる。

製材会社の山林部門（立木購入・伐採）に配属され、培ってきた経験を生かし平成9年に独立。家族経営を経て、平成27年に法人化。現在は息子2人と一緒に立木購入した山林で伐採作業に精を出している。また、真庭地域では少なくなった架線集材にも取り組んでおり、購入した主伐林での低コスト化にもつなげている。

事業体 概要 Company Profile

代表取締役 磯田 正夫

〒717-0025 岡山県真庭市後谷畝 638-3
TEL:0867-44-4313

設 立	平成27年5月1日
従業員数	3人
業務内容	素材生産（伐採・搬出）
勤務時間	8:00～17:00
休暇制度	日曜・その他

メッセージ

山とともに暮らしてきました。今では息子たちも一緒に山仕事をしてくれています。主伐ではやはり昔の経験があつてこそだと思います。山の地形や道の開設状況によって架線系と車両系を使い分けて、効率の良い伐採搬出による低コスト化にも取り組んでいます。

代表取締役 磯田 正夫





森林所有者の 笑顔を創りだすために

現社長は平成27年から就任。前社長である父親が特用林産物である椎茸生産を行っていたが、素材生産を本格化させるため、林業事業体で修業した後の平成元年に創業。材価の低迷によって主流となってきた委託型施業でなく、立木買取の主伐を中心に行う数少ない会社。また、山林所有者が山に行かないことが増えていくことを憂い、所有者に対し施業状況の確認や原木市場にも足を運んでもらう。

事業体 概要 Company Profile

代表取締役 古谷 正二

〒719-3203 岡山県真庭市富尾 272-4
TEL:0867-42-5568

設 立	平成 14 年 1 月 15 日
従業員数	4 人
業務内容	素材生産（伐採・搬出）
勤務時間	8:00～17:00
休暇制度	日曜・祝日・その他

メッセージ

わが社は私有林を対象に立木買取による主伐を中心に素材生産をしています。原木市場で値がつかない曲がったり、細かったりする木はバイオマス燃料用に販売しています。使い切ることで山へ残る物も減り、再造林のための地ごしらえも楽になり山主にも喜んでいただいています。

代表取締役 古谷 正二





森林にやさしく 人にやさしく

寿園のある真庭市富原地区は豊かな自然を大切に守ってきた地域。会社では、人工林を中心とした伐採搬出を行う素材生産のほか、農薬を一切使わないお茶栽培および製茶加工販売にも取り組んでいる。近年は老朽化した林業機械を更新し、素材生産量の拡大と労働生産性の向上に努めている。



事業体 概要 Company Profile

代表取締役 梶岡 泰士

〒717-0741 岡山県真庭市若代 2303-2
TEL:0867-46-2038

設 立	平成 16 年 4 月 1 日
従業員数	8 人
業務内容	素材生産（伐採・搬出）
勤務時間	8:00～17:00
休暇制度	日曜・天候不順・その他

メッセージ

真庭地域内でもとりわけ富原地区は明治中期以降から先駆けて植林を行ってきた地域です。昔は自伐の林業家や山守（やまもり）もいましたが材価の低迷により減ってしまい、わが社のように専門の事業者が増えてきました。今後も先人の努力の証である人工林を大切に守っていききたいですね。

代表取締役 梶岡 泰士





1本の木が多くの人々の 豊かな未来生活を創造します



「百年先の地球」を見つめ、 受け継いでいくべき仕事。

「日本の山が荒れていく…」

林業の衰退を嘆く山師の言葉を聞き、強い使命感を抱いて平成6年に「三謳」を設立。母里氏は後継者の育成にも尽力し若い社員と一緒に森林施業に取り組んでいる。また、「美と健康と環境」をテーマに山と向き合っており、10年後20年後と長期的なビジョンを持って、山林管理を山林所有者に提案している。

事業体 概要 Company Profile

代表取締役 母里 靖浩

〒717-0024 岡山県真庭市月田 5538
TEL:0867-44-3104

設 立	平成6年7月1日
従業員数	16人
業務内容	素材生産(伐採・搬出)・運送・育林
勤務時間	7:00 ~ 16:00
休暇制度	日曜・祝日・その他

メッセージ

1本の木が多くの人々の豊かな未来生活を創造します。山林を育て日本の国土を守っていくとともに社員全員の幸せと会社の永續を目指して取り組んでいます。林業未経験者も大歓迎で、ゼロからでも一人前に鍛え上げます。ホームページで積極的にPRしていることで関東から就業してくれた社員もいます。

代表取締役 母里 靖浩





少数精鋭による オンリーワンを目指して

平成16年10月20日に上陸した台風23号によって岡山県北部を中心に県内で約5,500haの風倒木被害が発生。

東京で全く違う職種で働いていた柴田氏が後継ぎとしてUターンした時期と重なり、未経験のまま林業の世界に飛び込むこととなる。山を何とかしたいという熱い思いから会社設立し、現在も山主から電話があれば遠方であっても森林の管理に赴く。

事業体概要 Company Profile

代表取締役 柴田 大司

わかしろうね

〒717-0733 岡山県真庭市若代畝6

TEL:0867-46-2314

メッセージ

森林所有者の世代交代が進み、山の場所を知らないケースも増えてきました。山が儲かる仕組みを作るため、コスト削減を進めていくことも必要です。儲かるカタチになれば山主も熱心に山へ行く日が再び来るのでは…。効率の良い森林経営のできる事業体を目指して日々チャレンジしています。

代表取締役 柴田 大司



設 立	平成18年12月20日
従業員数	8人
業務内容	素材生産（伐採・搬出）
勤務時間	7:00～16:00
休暇制度	日曜・祝日・その他



地域とともに守り育む

義父が行っていた丸太運搬（山～原木市場）から伐採搬出を行う素材生産事業を含めた経営に規模を拡大し、平成16年には林業事業体として法人設立に至る。作業道開設や伐採のための選木に多くの時間を費やし、1本1本の木を丁寧に育てるという信念で事業を展開。また、奥様も経理だけでなくトラック運搬を率先して行うなど女性も働きやすい職場となっている。

事業体 概要 Company Profile

代表取締役 永田 学

〒719-3223 岡山県真庭市樫東 1306-1
TEL:0867-42-3070

設 立	平成16年9月17日
従業員数	3人
業務内容	素材生産（伐採・搬出）
勤務時間	8:00～17:00
休暇制度	日曜・祝日・その他

メッセージ

木の運搬だけでは森林の荒廃が止まらない現状を見て、植林した山林がもったいないと。素材生産への事業拡大はチャレンジでしたが、今では安定した収益につながっています。事業規模を拡大につなげていくためにも担い手となってくれる人は男性・女性関係なく歓迎しています。

代表取締役 永田 学





自然を愛し、自然の恵みを大切に育んでいます

会社の歴史は古く、文政元年（1818年）に「若葉屋」として木材業を個人創業。真庭市（旧落合町）と縁があり大正時代の末に約380haの山林を取得。長期計画方針に沿ってスギ・ヒノキの保育作業を実施。また、依頼を受けて近隣私有林の保育や支障木伐採なども行う。秋の味覚の一つである松茸を所有山林内で収穫し贈答用としても販売。

事業体概要 Company Profile

代表取締役社長 服部 俊也

落合山林事務所

〒719-3145 岡山県真庭市西河内 2113-2

TEL:0867-52-0061

<http://www.hattori-k.co.jp>

設立 昭和25年9月1日

従業員数 6人

業務内容 素材生産（伐採・搬出） 特用林産

勤務時間 8:00～17:00

休暇制度 日曜・祝日・毎月第2/4土曜日・その他

メッセージ

わが社は他部署であっても新入社員研修の一環として山林研修を行います。近年では大学のインターンシップの受け入れやESD教育の場としても森を活用しています。私は鹿児島県で生まれ育ったのですが、縁あって服部興業で働くこととなり16年目を迎えました。自然の中で暮らし、働くことに満足しています。

山林部課長 川原 洋平





やりがいのある仕事^も が森林にある^り

平成8年に20年間勤めた森林組合を早期退職。平成12年に会社を設立し、経営者として多くの従業員を雇用。国土保全を考えた森林経営を行い、植林から保育（下刈～伐採）、輸送業と幅広く事業を展開している。

また、平成27年のバイオマス発電所の稼働に合わせて、未利用木をチップ化して燃料供給するための工場を整備。

事業体 概要 Company Profile

代表取締役 小出 一博

〒719-3111 岡山県真庭市開田 480
TEL:0867-52-3393

設 立	平成12年6月26日
従業員数	13人
業務内容	素材生産 チップ生産 運送業
勤務時間	8:00～
休暇制度	日曜・祝日・その他

メッセージ

昔から受け継がれてきた山林を大切に守り育て、次世代につなげています。わが社も先人に学び、誇りと生きがいを持って森林管理に努めています。初めて就労する人にもベテラン社員が丁寧な指導を行いますし、各種資格も積極的に取得していただいています。

代表取締役 小出一博





豊かな森林を育み、 次世代へ繋げる使命

昭和50年10月18日、真庭郡内6つの森林組合が合併し真庭森林組合を設立。平成17年4月1日、美甘森林組合と合併し現在に至る。植林から保育（下刈～伐採）といった事業を展開するほか、椎茸生産や私有林の森林保育の計画や測量、補助金申請等を行う。また、平成23年から市役所本庁舎等に未利用木を破砕したチップ燃料を供給するなど森林資源の地域内循環にも取り組んでいる。

事業体 概要 Company Profile

代表理事組合長 鳥越 康生

〒717-0013 岡山県真庭市勝山 1884-10
TEL:0867-44-3036

設 立	昭和50年10月18日
従業員数	一般職27人(臨時含) フォレスター24人
業務内容	植栽・下刈・間伐など山林作業全般
勤務時間	8:00～17:00
休暇制度	日曜・祝日・その他

メッセージ

戦後の拡大造林によって植林された木は伐期を迎え、収穫できる状況となってきています。当組合は、収穫するとともに植える、育てる、伐る、再度植えるという「循環の森づくり」をテーマに持続可能な森林づくりを目指します。また地域貢献、組合組織の充実も取り組んでいます。

代表理事組合長 鳥越 康生





高性能林業機械で 低コスト施業を実現

林業高校を卒業後サラリーマンとして勤務。平成6年に早期退職し、家業を継ぐかたちで素材生産の道に進む。平成7年に林業事業体として法人設立。真庭地域でもいち早く高性能林業機械を導入し、車両系集材による低コスト施業に取り組んでいる。また、平成27年のバイオマス発電所の稼働に合わせて、未利用木のチップ化にも取り組んでいる。

事業体 概要 Company Profile

代表取締役 向井 王則

〒717-0105 岡山県真庭市美甘 ^{みかも}3157-1
TEL:0867-45-7056

設 立	平成7年4月5日
従業員数	7人
業務内容	素材生産(伐採・搬出) チップ生産
勤務時間	8:00~17:00
休暇制度	日曜・祝日・その他

メッセージ

就業した頃にはすでに材価も安くなっており低コスト施業に向けて高性能林業機械を導入しました。先進国の多い欧州の林業機械展等を訪問し、日本の地形や条件に合う林業機械について勉強しています。近年はチップ化事業も始めており受け継がれてきた森林を今まで以上に活用できるようになりました。

代表取締役 向井 王則

